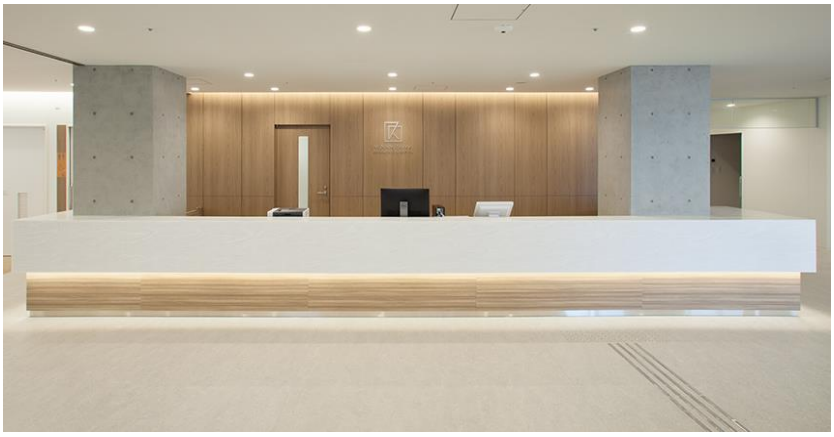


医療法人社団　慶晃会

南山リハビリテーション病院

質の高いリハビリテーション医療で

「人生」という「Life」を救う

当院は2021年10月に東京都稲城市に初となる回復期リハビテーションの専門病院として開院しました。
回復期リハビリテーション病院は、主に脳卒中や骨折などによりリハビリテーションが必要な方々が入院されております。脳卒中(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血など)では麻痺や嚥下障害、高次脳機能障害など、同じ病名でも患者さんにより症状が違い、骨折でも脊椎や大腿骨等部位によっても異なります。年齢や職業、これまで生活してきた環境なども含めると、一人として同じ障害を持った方は存在しません。その方がどんな症状・障害を持ってしまったのか、どんな事を望んでいるのか、これからどのように生活していくか、これらを専門的に治療していく所が回復期リハビリテーション病院です。

回復期リハビリテーションは、病院により様々な特徴をもっており、患者様・ご家族にとって何処を選んでいいか悩んでしまうことも多いと思います。当院には、リハビリテーション専門医・指導医がおり、患者様には安心して医療を受けられる環境であり、最善・最適なリハビリテーション医療を提供させていただけていると自負しております。

医療は「生命」という「Life」を救います。
リハビリテーション医療は「人生」という「Life」を救います。
当院スタッフ一同、一人ひとりに最適なリハビリテーション医療の提供と、皆様のご期待に添えるよう全力を傾ける所存です。

南山リハビリテーション病院

院長 伊藤 大起

南山リハビリテーション病院の特徴

スタッフステーションから、リハビリテーション室・食堂・トイレ・廊下などすべてが見える病棟

365日対応の積極的なリハビリテーション

セラピストによるリハビリテーション以外の時間を
どのように過ごすのか。ただベットで横になって過ごすのではなく
リハビリテーションの考えを取り入れた病棟生活を送れる体制を整え、
病棟や関係する職種のチーム全体でサポートします。
また、住み慣れた地域での生活に1日でも早く戻れるよう
医療・介護などの連携をとり退院後もサポートしてまいります。

入院から退院まで

当院の入院相談から退院までの流れについて

急性期 → 回復期

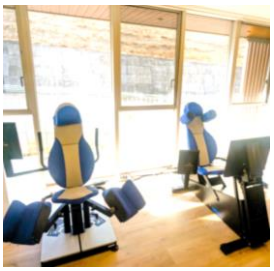
面談

入院されている病院の転院窓口(地域連携室・医療相談員・看護師など)にご相談ください。また、入院前にご本人もしくはご家族と面談を行います。

入院/リハビリテーション

入院当日は医師よりご説明いたしますのでご家族が当院にお越しください。入院当日よりリハビリテーションを開始します。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれ専門的なリハビリを提供します。 (毎日2時間以上、土日祝も実施)

機器を使用したリハビリの導入



トレーニングマシンHUR

空圧式トレーニングマシン。リハビリテーションに最適な負荷を提供

コグニバイクプラス

脳の活性化と下肢の運動を同時に訓練可能なエルゴメーター

IVES+

リハビリテーション用に開発された低周波治療器

バイタルスティムプラス

嚥下(飲み込み)に特化したリハビリテーション機器

浴室ユニット

ご自宅を想定した訓練が可能な浴室シミュレーター

ADLキッチン

実際の調理や食器類の洗浄・収納動作など、様々なトレーニングが可能

ごあいさつ

当院は、「暮らしへ帰ろう」をコンセプトに稲城市街を一望する素晴らしい景勝地にあり、落ち着いたあたたかなリハビリテーションに取り組める病院です。患者様・ご家族との信頼関係を築き、日々のリハビリテーションが日常動作の自立に繋がるよう支援し、患者様の視点にたった回復期リハビリテーション看護を提供いたします。看護部は病院理念に基づき、地域と連携しながらチーム医療を推進し、多職種と連携のもとチーム力を最大限に発揮していきます。

一年365日を通してリハビリテーション看護の専門知識と技術を磨き、「優しい目配り」「あたたかい心配り」「思いやりのある言葉配り」のホスピタリティをモットーに患者様の生活をより豊かにするために、誠心誠意対応いたします。患者様・ご家族から「南山リハビリテーション病院に来てよかった」と感じていただけるよう、看護部一丸となって励んでまいります。

看護部長
髙橋　真弓

生活期

面談/カンファレンス

多職種でチームを組み、患者様の状態の確認や退院後の生活について、毎月話し合い、患者様・ご家族の希望を聞きながら治療を進めます。

自宅訪問(家屋)調査

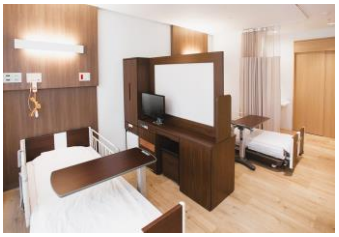
専門のスタッフが家屋評価のため、ご自宅に伺い、住宅改修や福祉用具などのご提案をします。

退院

ご自宅に戻る方、病院や施設へ転院する方。退院先については医療相談員が中心となって支援いたします。

入院中の1日のスケジュール

個室



二人部屋

四人部屋

6：00	起床　(整容･更衣･排泄)
7：30	朝食
9：00	検温 リハビリテーション 入浴
12：00	昼食
13：00	リハビリテーション 面談 更衣
18：00	夕食
22：00	消灯

■ 食事

朝食 7:30　**昼食** 12:00　**夕食** 18:00

状態に合わせて3食、食堂にて食べます。必要な方には自助具を用いたり、
スタッフがお手伝いさせていただきます。

■ 更衣

リハビリの一つとし、生活のメリハリがつけられるよう、朝･夕の2回着替えを行います。
介助が必要な方はスタッフがお手伝いさせていただきます。
自立の方は就寝時までにお着替えをしてください。

■ 入浴

週に２回は浴槽に入ります。患者様の状態に合わせて入浴方法を検討し、
自宅環境により近い状況で練習できるよう、訓練士も介入し練習を行います。

お食事(通常食)

お食事(行事食)

ラウンジ

カフェテラス･売店

入院のご相談窓口

病院からのご紹介

STEP 1
お問い合わせ

当院、地域連携部が
お電話にて入院相談を伺います

STEP2
書類送付

「診療情報提供書」を頂き
当院で検討いたします

STEP3
入院

入院日決定のお知らせ後
入院となります

まずは当院にご連絡ください。医療ソーシャルワーカーがご対応いたします。

【地域連携部】 042-401-7845　FAX 042-401-7846

平日 9:00～17:00

お車でお越しの場合

新宿方面からお越しの方→中央道「稲城IC」
八王子方面からお越しの方→中央道「府中スマートIC」より
稲城大橋方面に向かい稲城大橋を渡り、直進です
※当院駐車場をご利用ください

電車でお越しの場合

京王相模原線「稲城駅」より徒歩12分
北口のエスカレーターを降り右に道沿いにお進みください
※タクシーをご利用の場合は南口に乗り場がございます

所在地	〒206-0812　東京都稲城市矢野口3124-12
開設者	医療法人社団慶晃会　理事長　大串一彦
病床数	104床（回復期リハビリテーション病棟　2病棟　各病棟52床）
標榜科目	リハビリテーション科・内科

医療法人社団 慶晃会
南山リハビリテーション病院
042-401-7006（代表）

公式ホームページ
https://www.minamiyama-hp.jp